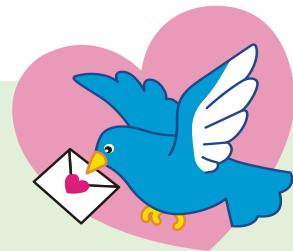


地域連携室だより

2025年6月
Vol.63

虹のレシピ

～浦添総合病院のオイシイ味方～



2023年12月 新規移転!

発行:医療相談・医療連携支援室 かけはし
TEL:098-879-0630(かけはし直通)
FAX:098-875-3261(かけはし直通)



フォーカス

オン

Focus On! “大腸外科”

～十分な症例検討・他施設との連携を通して
一人一人に最適な医療を～

日頃より当院の診療にご理解、ご協力いただきありがとうございます。

今回は大腸チームを紹介させていただきます。大腸チームは大腸肛門外科5名と甲状腺外科1名で構成されています。沖縄県内に大腸肛門病学会外科専門医は10名いますが、そのうち4名が当院にいます。他の施設は1名いるかいないかなので大腸肛門疾患の専門性の高いチームです。診療対象は全ての肛門疾患、大腸がん、炎症性腸疾患、大腸憩室症、直腸脱等の消化管疾患、また施設ではあまり診られていない骨盤疾患(骨盤内腫瘍、直腸膀胱瘻、直腸膣瘻、骨盤臓器脱、時には婦人科疾患)も診療しております。

グループの特色として個々の症例を十分に検討して治療にあたっていることがあります。当たり前のようですが十分に時間をかけるのは難しいことです。患者さんの状態は様々で、疾患に対する治療法も一つではなくそれに応じて最適解は違います。複数の視点から症例を検討することは医療の質を高くするために最も重要な事です。十分な検討を通して患者さんの状態に適した治療案を提示しています。

大腸がんにおいては、併存疾患がなく治癒切除が可能な症例では治療方針に窮することはありませんが、高齢者、複数の併存疾患を持つ症例の治療には多角的な議論が不可欠です。また治癒切除不能大腸がん症例に対しては常に新しい情報を得て治癒切除可能にするための方策について検討し県内外の医療資源の活用も視野に入れて治癒の機会を探ります。



～裏面へつづく～

2018年から2022年の間に経験された13例の治癒切除不能症例に強力な化学療法と切除困難部位に対する放射線治療と手術療法で6例の治癒切除が施行できました。高率に再発しますが更に最適な治療を施行することで今日では4例は癌の無い状態を維持できています。浦総でできなくても、県内でできなくても全国で治療できる方法があるならそれも活用し最善の治療を提供する思いやりのある専門集団です。地域そして沖縄の医療者の皆様に信頼される医療提供を目指して精進してまいります。今後ともよろしくお願いいたします。



出典:おきなわ津梁ネットワークホームページ <https://www.shinryo.okinawa.med.or.jp/>

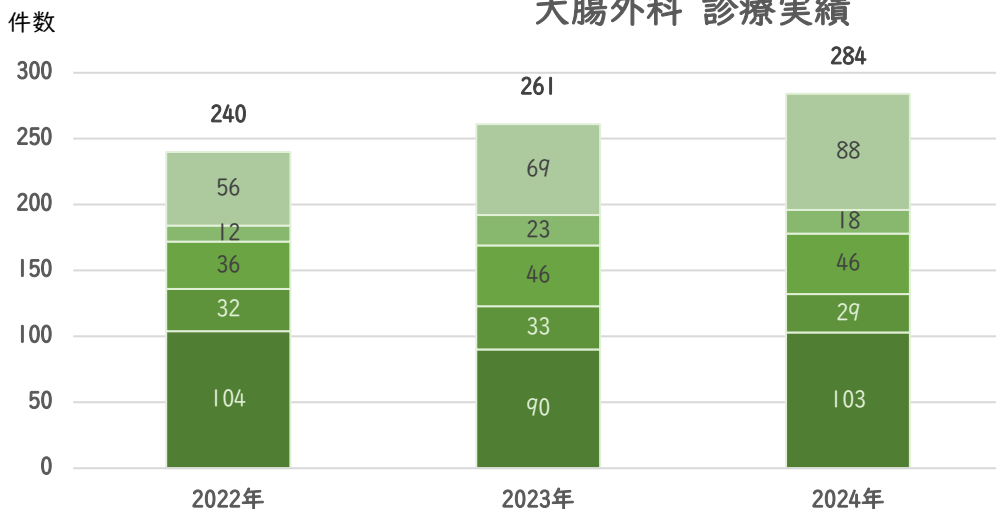
おきなわ津梁ネットワークの機能を利用した、「大腸がん相談室」にも参加しており、地域の大腸がん治療の質の向上に寄与することを目指しております。

お困りの患者さんが
いらっしゃいましたら、
お気軽にご相談ください。



下部消化管外科
部長 佐村博範 先生

大腸外科 診療実績



- 痔核・痔瘻・肛門関連手術
- 腸閉塞手術
- 人工肛門関連手術
- 直腸切除・切断術
- 結腸切除術

【“かけはしラジオ番組”のご案内】

医療相談・医療連携支援室“かけはし”のラジオ番組『虹のかけはし』を毎月第二木曜日に配信しています。第12回目の放送は、「浦添総合病院呼吸器外科」の梶浦耕一郎先生をゲストにお招きし、肺がんの概要や、沖縄県内の状況、治療方法などについてお話しいただきました。

聞き逃した方は、FM2IのYouTubeチャンネルから過去の放送も視聴可能ですので、ご覧ください。

ラジオ放送は、スマホ(アプリ:FMぷらぷら など)を利用すれば全国どこからでもお聴きいただけます。ぜひ次回の放送もお楽しみに♪



6月に収録した際の様子